

敷については期限を10月31日とし、この時期をめどに審議会を招集し、今後の対応について委員に意見を伺う予定である。

### 春日浦分譲地について

**問** B地区（低層戸建住宅地）の販売状況は。

**答** 販売実績は年々増加している。平成30年度から本年8月末までの契約数は売却を6区画、定期借地権付き土地賃貸借契約を25区画、合計31区画の契約を締結した。全280区画のうち85・7%が成約済みとなり、残り40区画となった。



春日浦分譲地

### 牧野泰広（自由クラブ）

### 河川のしゅんせつの状況について

**問** しゅんせつの進捗状況について伺う。

**答** 昨年、市内主要11河川、延長約22kmを調査した結果、約10kmで約1万7600m<sup>3</sup>の堆積土量があった。これに基づき、昨年度にしゅんせつを5年で行えるよう計画し、堆積土量の状況、周辺環境等を勘案し、今年度から順次、工事を行う。

### 電動アシスト自転車購入費補助金について

**問** 子育て世代の利用が少なく、自主返納者も含め運転免許証を有する者という補助対象と台数の見直しが必要と考える。

**答** また、温室効果ガス排出量削減効果が低く、目的を果たしていないと感じるが今後の考え方は。

**答** 電動アシスト自転車を通じて、地球温暖化対策等に関心を持ち、取り組



むようにしてもらうことは大切と考える。幅広く市民に自動車等の利用を減らし、自転車への転換や積極的な活用をしてもらえるように、補助対象者も含め適宜見直しを行っていきたい。

### 鎌田篤司（市政クラブ）

### キャッシュレス化の推進について

**問** 市内の商店街や小規模店舗等でのキャッシュレス化を一層推進すべきと考えるが、市の考えは。

**答** キャッシュレス決済は、消費者である市民の利便性の向上や店舗の経営の効率化等のメリットが考えられる。また新しい生活様式や各業界の定めるガイド

### 市民病院の医療体制の強化について

ラインでも衛生的で接触の機会を減らすとして、利用が推奨されていることから、市としてもメリットを周知し導入や利用を進めていく。

**問** 看護師の新型コロナウイルス感染症公表後の対応について伺う。

**答** 直ちに看護師の所属する病棟への新たな入院患者の受入れを停止、医師、看護師、当該病棟の患者全員のPCR等検査を実施した。また、受入れを停止していた病棟は、病室の消毒を行い、感染拡大がないことを確認後、受入れを再開した。今後は、感染症対策及び職員の健康管理の更なる徹底に努めていく。

### 喚田孝博（自民党市議団）

### 災害時要援護者支援制度について

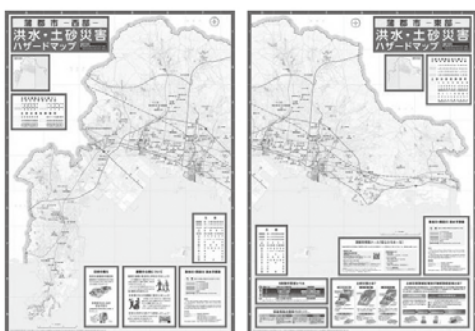
**問** 災害時の避難行動要支援者の対象者数及び要援護者の登録者数を伺う。

**答** 8月末時点で、避難行動要支援者数は414人。そのうち要援護者として登録がある方は102人。

**問** 要支援者の人口割合が県下38市で最も少なく、対象者の基準が厳し過ぎる。基準の見直しが必要では。

**答** どのような進め方がふさわしいか、登録者数の多い自治体への視察、聞き取り等研究を進めたい。

**問** 要配慮者利用施設の避難確保計画について



洪水・土砂災害ハザードマップ